

9－3 都市及び地方計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ－1，Ⅱ－2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ－1 次の4設問（Ⅱ－1－1～Ⅱ－1－4）のうち1設問を選び解答せよ。（緑色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙1枚にまとめよ。）

Ⅱ－1－1 日本海側の半島地域で大規模な地震災害が発生した場合に，災害からの持続可能な復興対策を実施するに当たり，技術者の立場で解決すべき主要な技術課題を3つ挙げ，それぞれの技術課題に対する解決策を述べよ。

Ⅱ－1－2 土地区画整理事業の換地計画に関して，照応の原則について説明するとともに，換地設計における換地の定め方を説明せよ。また，市町村（政令指定都市を除く）施行事業の換地計画の決定手続きを説明せよ。

Ⅱ－1－3 マンションの管理の適正化の推進に関する法律に基づいて実施されるマンションの管理に関する計画の認定制度（マンション管理計画認定制度）の仕組みについて説明するとともに，管理計画認定の基準の内容について3つ説明せよ。

Ⅱ－1－4 都市公園法に基づく公募設置管理制度（Park—PFI）について，制度の内容を述べるとともに，従来の設置管理許可（公募設置管理制度に基づかない通常の手続きの設置管理許可）には無い公募設置管理制度の法令上の特例措置を複数挙げ，それぞれの事業者にとってのメリットを説明せよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（青色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙２枚を用いてまとめよ。）

Ⅱ－２－１ ある大都市の地方公共団体において，都市の玄関にふさわしい空間が不足している駅周辺地域の駅前広場及び道路空間を対象として，都市空間再構築のための基本構想を作成することとなり，この検討に当たり，関係者との円滑な合意形成を図るため，３Ｄ都市モデルを活用することとなった。

あなたが，３Ｄ都市モデルを活用した基本構想を作成する業務の担当責任者として，下記の内容について記述せよ。

- （１）あらかじめ調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- （２）３Ｄ都市モデルを活用して都市空間再構築のための基本構想を作成するまでの業務手順を列挙し，それぞれの段階で留意すべき点，工夫を要する点を述べよ。
- （３）業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

Ⅱ－２－２ 旧街道沿いの宿場町としての町並みが残る人口１０万人規模の地方都市において，都道府県が策定した景観計画に基づく取組は進めているものの，町並みに調和しない無秩序な形態や色彩の建築物や屋外広告物が増えつつある。こうした中で，地域の景観特性を活かした良好な景観の保全・創出を図るため，当該都市において景観法に基づく景観計画を新たに策定することとなった。

本業務の担当責任者として，景観計画を策定するうえで必要となる事前の調査や景観計画案の作成を進めるに当たり，下記の内容について記述せよ。

- （１）景観計画案を作成する際に，事前に調査すべき事項とその内容について説明せよ。
- （２）前問（１）の調査の結果を踏まえ，景観計画案を作成する業務手順を列挙して，それぞれの項目ごとに留意すべき点，工夫を要する点を述べよ。
- （３）業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

9－3 都市及び地方計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ－1，Ⅲ－2）のうち1問題を選び解答せよ。（赤色の答案用紙に解答問題番号を明記し，答案用紙3枚を用いてまとめよ。）

Ⅲ－1 我が国の都市における今後のまちづくりは，人口の急激な減少と高齢化を背景にしながら，持続可能で安全・安心して暮らせる都市を目指す必要があり，行政と住民や民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを促進するため，立地適正化計画制度が創設され多くの都市で活用されてきている。

人口減少傾向である人口30万人規模の地方都市において，新たに立地適正化計画を作成して，まちづくりに取り組むこととなった。当業務を担当する「都市及び地方計画分野」の技術者として，以下の問いに答えよ。

- （1）上記のような地方都市において，立地適正化計画を活用してまちづくりに取り組むに当たり，多面的な観点から技術課題を3つ抽出し，観点を明記したうえで，それぞれの技術課題の内容を示せ。
- （2）前問（1）で抽出した技術課題のうち最も重要と考える技術課題を1つ挙げ，その技術課題に対する複数の解決策を示せ。
- （3）前問（2）で示した解決策に関連して，立地適正化計画作成後に計画に基づく取組を進めていくなかで，新たに浮かび上がってくる将来的な懸念事項とそれへの対策について，専門技術を踏まえた考えを示せ。

Ⅲ－2 高度経済成長期以降，都市部への急激な人口集中に対応し，住宅団地の開発が進められたが，多くの住宅団地では，入居開始後，期間が経過し，様々な課題が顕在化しつつある。このような状況を踏まえ，以下の問いに答えよ。

- （1）大都市の郊外に開発された戸建て住宅地を多く含む住宅団地を再生するに当たり，多面的な観点から技術課題を3つ抽出し，観点を明記したうえで，それぞれの技術課題の内容を示せ。
- （2）前問（1）で抽出した技術課題のうち最も重要と考える技術課題を1つ挙げ，その技術課題に対する複数の解決策を示せ。
- （3）前問（2）で示したすべての解決策を実行しても新たに生じうるリスクとそれへの対策について示せ。